

## 決議

農業・農村は、食料の安定供給をはじめ、国土や自然環境の保全、豊かで美しい景観形成、文化の伝承など、地域資源として様々な多面的機能を有しており、国民生活を支える基盤として重要な役割を担っている。

しかしながら、先人たちによって、健全に守られてきた農業・農村は、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、人口減少に伴う集落機能の低下等の様々な問題を抱えている。また、農業水利施設の老朽化の進行は、食料の安定供給に支障をきたすばかりでなく、国民の生命や財産にも重大な影響を与えることが危惧されている。

このため、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき、農地中間管理機構と連携した農地の大区画化・汎用化による担い手農家への農地の集積や国土強靱化の観点に立った農業水利施設の整備促進が不可欠であるとともに、農村に豊富に存在する自然エネルギーを有効活用した小水力発電等の導入促進や、地域の共同活動を支援する「日本型直接支払」を法律に基づき安定的な制度の下、多くの地域で取り組むことが重要である。

以上を踏まえ、水土里ネット鹿児島は、鹿児島の農業・農村の持続的な発展を目指して、農業農村整備事業を強力に推進するため、水土里ネット関係者の総力を結集し、左記事項の実現を、第五十七回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一 農地集積の加速化に向けた農地の大区画化と汎用化の整備促進
- 一 食料供給基盤の強化を図るため畑地かんがい施設整備の積極的な推進
- 一 農業水利施設の保全整備や耐震化等の防災・減災対策の着実な推進
- 一 農村の資源を活用した小水力発電等の再生可能エネルギーの普及促進
- 一 地域資源の良好な保全管理に向けた水土里サークル活動の積極的推進
- 一 土地改良区の運営基盤強化に向けた支援の強化

右決議する。

平成二十七年三月十九日

水土里ネット鹿児島（鹿児島県土地改良事業団体連合会）

第五十七回通常総会